



表紙:阿波藍で染めたさまざまな布(提供:川人美洋子)

化学と工業 12

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY

Vol.62-12 December 2009

C O N T E N T S



クリスマスツリー

1235 **巻頭言** 産学官協同研究の一方向性
A direction for industry-academia-government collaborative research
遠藤 剛 Takeshi ENDO

1241 **論説** ぶれる教育行政
——全国学力・学習状況調査、教員免許更新制度が包含する問題点
Unstable educational administration: Problems implied in the national achievement test system and the teacher certification renewal system
伊藤 卓 Takashi ITO

1245 **OVERVIEW** おいしさは進化する
個性を競うビールの仲間

1250 **特集** おなじみ地方名産品の化学

2005年より毎年12月の恒例となった「地方名産品の化学」。今回は日本の伝統文化や伝統美を支えてきた素材をテーマに、阿波藍、食用菊、墨、線香に焦点を当て、その歴史的背景から化学との関わりまでを分かりやすく紹介しています。視覚、臭覚、味覚を刺激する官能的な地方名産の化学を存分にお楽しみ下さい。

- 1 阿波藍——阿波藍で染めた色は合成藍とは違うのだろうか?
川人美洋子
- 2 食用菊の今昔——菊の花を食べるなんてもってのほか!?
笠原義正
- 3 墨——奈良の地で作られる炭素製品
野田盛弘
- 4 薫物から聞香、そして線香へ
——まっすぐ細くは熟練職人のなせる技——線香製造の裏舞台と芳香成分
伊藤美千穂・鳥毛逸平



ベルギーにあるビールの王様カンプリヌスの像(上)とコエドビール(撮影:佐藤成美)

1262 **私の自慢** 極限環境微生物と極限酵素
へそ曲がりの微生物が作り出す個性あふれる酵素に魅せられて
中村 聡

1265 **飛翔する若手研究者** 光電変換機能がプログラムされた
分子組織体の創製と応用
羽曾部 卓
表面・界面制御による導電性ダイヤモンドの機能化
近藤剛史

1271 **話題** 軌道概念で化学を考える
——進化したフロンティア軌道理論で化学を学ぶ
友田修司